

第3学年 社会

1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時事を踏まえ、身近な疑問や問題を通じて、関心を持てるようにする。 ○ 日本と国際社会の諸事象、政治活動、経済活動に対して高い関心を持ち、それを意欲的に追究し、広い視野にたつて民主主義について考え、国際社会の一員としての自覚をもとうとする。 ○ 日本や国際社会の諸事象、政治活動、経済活動、国際平和や国際協力における課題を見出し、多面的・多角的に考察し、公正に判断する。 ○ データやグラフ、映像など社会の話題に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追及し考察した過程や結果を報告書などにまとめたり、発表や討論を行ったりする。 ○ 日本や国際社会の諸事象、政治活動、経済活動、国際平和や国際協力について理解し、その知識を身につけている。
使用教材	教科書 中学社会公民 ともに生きる (教育出版)

2 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	
①社会的事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に発言・作業活動ができるか。 ・ノートの整理がきちんとできるか。 ・学習の準備や課題の提出がきちんとできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み (忘れ物) ・発表 ・提出物 ・ノート
②社会的な思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を結びつけたり予想したりすることで筋道を立てた発言ができるか。 ・予想や事実を含め、理論立てて論述できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・ノート ・夏休みの課題研究 ・定期テストの思考・判断の項目 ・発表
③資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、統計、図表、史料を正確に読み取ることができるか。 ・課題を追求することに必要な資料を収集し活用できるか。 ・統計資料や調査結果を活用して作品をつくることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題研究 ・課題レポート ・地図、資 (史) 料、グラフ等の活用の様子 (授業プリントなどで確認) ・プリント学習の作業の様子 ・定期テストの資料活用の項目
④社会的事象についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・基本用語を理解し、正しく使うことができるか。 ・社会的事象の因果関係や基本的背景を理解する事ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期テストの知識・理解の項目

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	歴史的分野 第5章近現代の日本と世界 3. 日清・日露戦争と近代産業 第6章二度の世界大戦と日本 1. 第一次世界大戦とアジア・日本 2. 世界恐慌と日本の中国侵略 3. 第二次世界大戦とアジア 第7章現代の日本と世界 1. 日本の民主化と国際社会への復帰 2. 国際社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・近代国家が形成され、日本の近代産業が産業革命を経て発展していく過程等において、それに関わる人々やこの時代の生活や文化について関心を持っているか。【関】 ・近代国家が形成されていく過程を、欧米諸国の動とのかかわりの中で考察できるか。【思】 ・明治の諸改革を通して近代国家の基礎を整えていった人々の努力や生活の変化について、さまざまな資料を通して多面的・多角的にとらえているか。【資】 ・近代日本の社会や文化について基本的な知識を身につけているか。【知】 ・戦時下の国民生活について身近なところと関連しようと努め、地球市民として公正な歴史観を持とうとしているか。【関】 ・二度の世界大戦を通して、日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きと関連させながら考察できるか。【思】 ・資料から世界と日本の動きを関連させながら多面的・多角的にとらえているか。【資】 ・二つの世界大戦と日本について、基本的な知識を身につけているか。【知】 ・国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせ、21世紀の社会について意欲的に考えようとしているか【関】

		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら考察しているか。【思】
2 学 期	公民的分野 第1章「現代社会とわたしたちの生活」 第2章「人間の尊重と日本国憲法」 1 個人と社会生活・家族と社会生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の様々な事象に対し、興味関心を高め適切な課題を設定し、意欲的に学習している。【関】 ・現代の社会をさまざまな角度からとらえたり、自らの社会生活と関連づけて考えるなど、国際社会における日本の役割を多面的・多角的に考察している。【思】 ・課題にあった資料を収集、選択、活用するとともに、学習の成果をわかりやすく表現している。【資】 ・身近な社会生活に対する関心を高め、よりよい社会生活を営んでいくために、個人は社会とどのようにかかわったらよいか具体的に考えようとしている。【関】 ・人間の尊重についての考え方と法に対する関心を高め、それらを意欲的に学習し、民主的な社会生活について考えようとしている。【思】
	2 人権と日本国憲法 3 人権と共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会生活から課題を見出し、個人と社会とのかかわりについて様々な視点から考察し、よりよい社会生活のあり方について公正に判断している。【思】 ・憲法の条文を読み下し、内容を把握する。【資】 ・わが国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、さまざまな視点から考察し、民主的な社会生活のあり方について公正に判断している。【知】 ・さまざまな資料を選択し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、学習し考察した過程や結果をまとめたり、発表や討論などを行っている。【関】 ・身近な社会生活の営みについて理解するとともに、個人の尊厳と両性の本質的平等、社会生活における取り決めの重要性、取り決めを守ることの意義、個人の責任に気づき、その知識を身につけている。【思・知】 ・人間尊重の考え方を基本的人権を中心に深め、天皇の地位と国事行為について理解し、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として理解し、その知識を身につけている。【知】
	第3章「現代の民主政治と社会」 1 現代の民主政治 2 国の政治としくみ 3 地方の政治と自治	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の政治に関心を持ち、意欲的・自主的に学習課題を立て、学習活動を進めている。その中で、「将来の主権者としての自分」を自覚し、民主的な政治のあり方について考えようとしている。【関】 ・議会制民主主義の意義と現実の政治の課題について多面的・多角的に考察するとともに、選挙をはじめとする国民の政治参加によってよりよい民主政治が運営されていくことに気づいている。【思】 ・現代日本の政治に関する平易な新聞記事・法令・判例などを収集、選択、整理し、自らの学習に生かしている。【資】 ・国会を中心とする我が国の民主政治の考え方としくみのあらまし、地方政治の基本的な考え方としくみについて、主権者・地域住民の立場から理解し、その知識を身につけている。【知】

	<p>第4章「わたしたちの暮らしと経済」</p> <p>1 わたしたちの生活と経済</p> <p>2 市場経済と金融</p> <p>3 国民生活と福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な調査活動やシミュレーション、討論といった課題学習に関心を持って取り組み、消費者や市場経済に関する諸問題を意欲的に学習している。【関】 ・経済活動が社会生活にさまざまな面で密接なかかわりを持っていることをふまえ、経済上の諸問題について、自ら考え、さまざまな立場から公正に判断している。【思】 ・個人や企業の経済活動、国や地方公共団体の経済的役割について、適切な資料を用いて自分の考え方をまとめ、わかりやすく発言や発表をしている。【資】 ・身近な消費生活を通して、経済活動が生活のための手段であり、人間の生活の維持・向上に欠かせないものであるといった経済活動の意義を理解し、その知識を身につけている。【知】 ・消費動向や価格の動きなどを中心に、経済活動がさまざまな条件の中での選択を通して行われている市場経済の基本的な考え方について理解し、その知識を身につけている。【知】
3 学 期	<p>第5章「地球社会とわたしたち」</p> <p>1 国際問題と地球市民</p> <p>2 国際社会と世界平和</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の抱えている諸問題に対する関心を高め、課題を意欲的に学習し、これからのよりよい社会を築くために解決すべき諸問題を考え続けようとする態度が育っている。【関】 ・国際社会の諸問題から課題を見出し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について、さまざまな視点から考察し、これからのよりよい社会のあり方について、さまざまな観点や視点から判断している。【思】 ・国際社会の諸問題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、その結果を評価したりレポートにまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。【資】 ・世界平和の実現と人類の福祉の増大にかかわって、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力の大切さについて認識している。【知】 ・日本国憲法の平和主義の理念に基づき、現在および将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について理解し、その知識を身につけている。【知】

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ・授業を集中して受け、人の話をきちんと聞こう。わからないことは質問しよう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことはノートに工夫してまとめよう。 ・資料や地図、グラフを見てわかったことや、自分の考えを積極的に発表しよう。 ・ワーク等の提出物は期日を守ろう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したところはワーク等で確認しよう。定期テスト前にもう一度復習しよう。 ・わからないところは資料集・教科書などを使って調べよう。 ・ニュースや新聞をチェックしよう。 ・社会的なものを含むテレビや本などで、社会に関する関心を深めよう。